10
October 2018
No.748

熊歯会報

Kumamoto Dental Association

熊本県歯科医師会

CONTENTS

- 巻頭言（理事　井上 裕邦）……3
- 報告（警察歯科医会全国大会）……4
- 理事会報告……6
- 委員会報告……9
  （医療対策、センター・介護、学術）
- 郡市会報告……13
  （水俣・芦北郡市）
- リレー投稿㉒……14
- 新入会員……15
- 会務報告……16

― 歯科医師の倫理綱領 ―

われわれ歯科医師は、日頃より歯科医学および歯科医療の研鑽を通じて培った知識や技術をもって、人々の健康の回復と疾病の予防のために貢献するものである。

一、専門職として歯科医学と歯科医療の発展のために尽くし、医療倫理の実践に務める。

一、専門職であることを念頭に、法を遵守し適切な説明を行い、常に愛情を持って患者のために社会的使命を果たすように努める。

一、自己の知識、技術、経験を社会のために提供し、社会福祉および国民の健康向上のために努める。

公益社団法人　日本歯科医師会

表紙に寄せて

第17回警察歯科医会全国大会で主管県として挨拶をする浦田会長です。

（T. K）

「警察歯科医会全国大会を終えて」

理事　井 上 裕 邦

会員の先生方には日頃より学術講演事業にご参加・ご協力いただきありがとうございます。先日、「第17回警察歯科医会全国大会」を本会主管で開催し、全国から警察歯科及び大規模災害に携わる方、そして本会会員の先生方と多くの方々にご参加いただきました。

『熊本地震から「繋ぐ」支援活動と警察歯科のあり方』という本大会のテーマにおいて式典から特別講演、熊本地震報告、シンポジウム、ポスターセッションと盛りだくさんの内容で行われ、本会からは「熊本地震における支援活動報告」を渡辺副会長、支援活動での問題点を「熊本からの提言」として牛島専務理事が発表されました。大規模災害時には医療、保健、福祉に携わる行政はじめ関係団体が連携し、身元確認から物資供給、口腔ケアまで歯科医師として携わる多くの支援活動があります。熊本地震の際に私自身避難所の支援活動に参加しましたが、それまで災害支援に対する考えや訓練を受けたことも受けようと思ったこともなかったので、十分な支援活動ができたかは定かではありません。また起こっては欲しくはありませんが、万が一災害が発生した時、震災関連死の概要や支援活動の検証を行い、全国に発信し繋いでいくこと、そしてリアリティのある研修、訓練を行い準備することが熊本地震を経験した私たちの役割であり、今回本大会が熊本で行われたことは良かったと思います。

さて、「歯周病と全身の関係」のエビデンスが確立され医科歯科連携強化を国が推進するため2018年に続き2019年も政府の「骨太方針」に組み込まれました。本会でも周術期での対応、歯周病と糖尿病、歯周病と早産の関連性など地域保健委員会や総務・医療連携委員会等が受け持ち、各委員会で講演会、実習を企画しています。普段は学術担当として、基礎歯科医学や基本的歯科治療あるいは最新情報の講演会を企画しておりますが、災害時には身元確認、その後の支援活動など歯科医師として求められる役割は多岐に亘り、このような内容の講演会は歯科医師会でないと対応出来ないと思います。本会で進めております安心・安全歯科医療推進制度の運営委員として、会員のためになる事業であり続けるような制度の確立とより多くの県民の皆様に制度を理解していただく為の啓発活動もしておりますので、是非学術講演会をはじめ、様々な講演会・研修会に積極的にご参加いただき、基礎歯科医学や基本的歯科治療と共に先進歯科医療に関する情報とツールを獲得して日歯生涯研修制度の単位並びに安心・安全歯科医療推進制度の基準達成証取得を目指して頂きたいと思います。

最後に、かかりつけ専門医を確立するにあたり、日歯生涯研修制度の充実による歯科医療の向上を図るため、今年度より日歯のＥシステムが改変され、厳格化されました。以前より煩雑になりましたことはご了承ください。

報 告

将来起こり得る大規模災害に備えて歯科支援活動及び身元確認体制の更なる確立へ

― 第17回警察歯科医会全国大会 ―

会場は445人の参加者で満席

第17回警察歯科医会全国大会が８月25日（土）午後１時からホテル日航熊本にて、大会のテーマ「熊本地震から“繋ぐ”～支援活動と警察歯科のあり方～」と題し、熊本地震で何を経験し何が必要であったのかを今一度振り返り、大規模災害に直面したときの歯科支援活動と身元確認のあり方を検証していきたいとして開催された。全国より主催者である日本歯科医師会をはじめ警察関係者、警察歯科医、歯科医師及び大規模災害に携わる445人が参加した。

主管挨拶をする浦田会長

伊藤県歯副会長の開会、浦田県歯会長、柳川日歯副会長の挨拶があり、阿波警察庁刑事局捜査第一課検視指導室長、小野県副知事、植松副市長、小山県警本部長の祝辞があった。

特別講演では西谷熊本大学法医学分野教授を座長に出羽厚二岩手医科大学法医学講座教授より「大規模災害に対する実践的な準備とは ―何を想定し、何を備蓄し、どう訓練し、どう行動するのか？」―と題して講演があった。

柳川日歯副会長の主催者挨拶

熊本地震報告では支援活動のビデオ放映があり、震災当時を思い出し涙ぐむ方もおられた。

渡辺県歯副会長と田中県警本部科学捜査研究所所長よりそれぞれの立場で活動報告があった。

シンポジウムでは中村九州大学教授と佐藤日歯副会長を座長に、柳川日歯副会長、工藤福島県歯常務理事、中久木東京医科歯科大学顎顔面外科学分野助教、牛島県歯専務理事の４人がシンポジストとして発表された。小島県歯副会長の閉会で講演会は終了

特別講演の出羽岩手医大教授と座長の西谷熊大教授

座長の中村九大教授と佐藤日歯副会長

となった。その後のポスターセッションでは身元確認関連・訓練、研修関連・情報、ツール関連・熊本地震等関連の４グループに分かれて22題が発表された。

懇親会では最初に花童（はなわらべ）の華やかな舞があった。浦田会長の挨拶、佐藤日歯副会長、甲斐刑事部長の来賓挨拶があり、渡辺日歯連盟副会長の乾杯の発声で開宴となった。「地酒コーナー」「屋台コーナー」には行列ができ、熊本の名産である辛子蓮根、太平燕、馬串などを食しながら懇親を深めた。

2020年、次期開催県の伊地知鹿児島県歯会長の挨拶があり、最後に渡辺県歯副会長の閉会の言葉で大盛況の下に終了した。

（広報　竹下 憲治）

シンポシスト

22題のポスターセッションも熱気

渡辺日歯連盟副会長による乾杯の発声

華やかな舞の花童

次回開催の伊地知鹿児島県歯会長の挨拶

理事会報告

警察歯科医全国大会に向けて万全な準備を！

― 第16回理事会 ―

8月22日（水）午後7時より県歯会館において、浦田会長他全役員出席のもと開催された。

1．開会：小島副会長
2．挨拶：浦田会長

役員の先生方におかれましては、お盆休みにしっかりリフレッシュされたと思いますので、また会務運営に力を注いでいただければと思います。少しは涼しくなったと思ったら、また暑い日が続いております。台風が2つ日本に近づいてきており、その1つの台風次第では、今週末の警察歯科医全国大会に参集される方々には足元の悪い中で参加される事になるかと思います。警察歯科医全国大会については準備万端にして、あとは運を天に任せるではないですが、しっかりと運営していきたいと思いますので、最後まで気を抜かずに、また参集される方々が熊本に来て良かったと思っていただけるように気配りをしていきますので、先生方の最後までのご協力をよろしくお願いいたします。

8月18日・19日と小島副会長と2人で、7月豪雨災害の被害に遭われた広島・岡山・愛媛の3県と大阪北部地震で被害に遭われた大阪の各歯科医師会にお見舞いに行きました。会議等で各県にお邪魔したことはありますが、各会館に行ったのは初めてでした。各県の災害対応等について意見交換をさせていただきました。また、各県が夜間診療、休日診療や障がい者診療をされており、その現場も見せていただきましたし、どのような体制で診療されているかもご教示いただきました。それぞれの県で違いがあり、大学のバックアップがあるところなど様々で参考となるところが多かったと思います。各県歯科医師会を訪問させていただく事も意義が有るなとあらためて感じました。各県とも災害に対する対応等ご苦労されている状況ではありますが、熊本地震時に比べると大したことはないですよとの言葉をいただきました。今週末の警察歯科医全国大会に参加される県もありますので、その中で再度情報交換をしながら災害に対応する体制や支援が出来るように頑張っていきたいと思います。よろしくお願い申し上げて挨拶といたします。

3．議長選出：浦田会長
4．議事録署名人：中嶋監事、西野監事、浦田会長
5．平成30年度会務報告：
（自：7月23日～至：8月19日）
本会総務：理事会、常務理事会、西日本豪雨災害・大阪北部地震災害見舞金贈呈
社会保険：委員会時のスカイプ会議
地域保健：後期高齢者歯科口腔健康診査事業研修会
学校歯科：支援学校におけるフッ化物洗口説明会
医療対策：医療相談苦情事例
厚生・医療管理：健康診断
学　　院：体験入学
以上、各担当役員より報告がなされた。
6．報告事項：
1．退会会員
● 故　元島 博信　会員（終身／熊本市）77歳　8月2日ご逝去
2．表彰
● 日本歯科医師会会長表彰
今藤 隆文　会員（人吉市）
※表彰式：11月17日（土）第39回全国歯科保健大会（於・栃木県）
● 平成30年度熊本県学校保健功労表彰
清村 正弥　会員（熊本市）、南 信之　会員（菊池郡市）、新生 育子　会員（阿蘇郡市）、永田 英樹　会員（水俣・芦北郡市）、今藤 ひとみ　会員（人吉市）の計5人

3．事務局職員の担当業務の変更（８月１日より実施）

4．地域医療介護総合確保基金（介護従事者の確保）

介護従事者の確保に関する事業の提案募集があったが、県庁に照会したところ歯科関連の事業は無いとの回答があった。

5．事務局の空調機故障に伴う修理

７月下旬に室外機が故障したので修理を行い、修理費用として54万円の支出を行った。

6．西日本豪雨災害支援募金状況

８月16日現在で63人の会員より、58万３千円の募金があった。さらに、本会役員には１人あたり５千円の募金の依頼が行われた。

7．第57回全日本学校歯科保健優良校表彰第一次審査結果

本会より推薦した荒尾支援学校は奨励賞に選ばれた。

8．平成30年度シニア倶楽部懇談会の運営

９月15日（土）午後６時より、熊本ホテルキャッスルにて開催する。

9．平成30年度シニア倶楽部社会保険研修会の運営

９月15日（土）午後４時より、県歯会館にて開催する。

10. 平成30年度日本スポーツ協会公認スポーツデンティスト養成講習会の審査結果

本会より推薦した２人の会員について、日歯より受講が内定した旨の連絡があった。

11. 事業実施報告書

- 学術委員会：８月５日（日）学術講演会
- 総務・医療連携委員会：６月末がん及び回復期の医科歯科連携事業

12. ７月末会計現況

13. その他

- 大学病院情報マネジメント部門連絡会議への講師派遣依頼

１月30日（水）から２月１日（金）までメルパルク熊本において開催され、１月31日（木）に予定されている歯科セッションへの講師派遣依頼があった。総務・医療連携委員会で対応する。

- 陽子線治療説明会の開催案内

生命保険会社からの依頼により、10月６日（土）・18日（木）に開催し、９月の全会員発送時に案内を同封する。

- 阿蘇医療センターとの面談内容

歯科口腔外科開設については、来年１月を予定しており、さらに、平成31年度地域医療介護総合確保基金事業に、医科歯科及び関係多職種の連携による集学的医療システムの構築について事業提案を行っているとの話があった。

7．連絡事項：

1．９月行事予定

2．平成30年度下半期の行事予定

8．承認事項：

1．新入会員の承認〔承認〕

河野 宏明（第１種：下益城郡）、淺野 司（第１種：玉名郡市）、中村 徹生（第１種：八代）、大野 毅（第３種）、中原 亜由美（第３種）、大塚 洋平（第３種）計６人の入会を承認した。

※30年度入会状況（８月末現在）：第１種・13人、第２種・３人、第３種・20人、第４種・１医療機関

2．関係機関・団体からの役員等の推薦依頼〔承認〕

- 県医療審議会委員／県医療政策課

浦田 健二　会長　任期：平成30年８月１日～平成32年７月31日

- 社会保険診療報酬支払基金熊本支部幹事／支払基金熊本支部

浦田 健二　会長　任期：平成30年９月１日～平成32年８月31日

- 社会歯科学会評議員／社会歯科学研究会

浦田 健二　会長　任期：平成30年９月１日～平成32年８月31日

- 県介護保険審査会／県認知症対策・地域ケア推進課

渡辺 賢治　副会長　任期：平成30年８月１日～平成31年３月31日

- 九州地方社会医療協議会臨時委員／九州厚生局熊本事務所

椿 誠　常務理事　任期：平成30年10月14日～平成32年10月13日

- 児童生徒の心と体の健康づくり推進事業推進委員会委員／県学校保健会
  大林　裕明　理事　任期：平成30年８月１日～平成31年３月31日
- 全国健康保険協会熊本支部健康づくり推進協議会委員／全国健康保険協会熊本支部
  赤尾　浩彦　理事　任期：平成30年８月１日～平成32年７月31日

３．名義後援使用及び共催依頼〔承認〕

〔名義後援〕

- 緩和ケア市民公開講座／熊本大学医学部附属病院（継続承認）
- 第25回日本介護福祉士会全国大会／日本介護福祉士会

〔共催〕

- 歯の健康ランド／新樹会（継続承認）

４．県体育協会からの免税募金のお願い〔承認〕

昨年度と同様、10万円を寄附することとした。

９．議題：

１．くま歯キャラバン隊メニュー追加〔承認〕

ケイ・デー・エム・ユーの事業、歯科衛生士・歯科技工士の需給問題と終身会員の条件変更のメニュー追加について承認した。

２．第73回九州歯科医学大会（熊本開催）の開催期日及び会場〔承認〕

2020年10月17日(土)・18（日）に、熊本城ホール２階多目的ホールにて開催することとした。

３．第１回各郡市歯科医師会会長・専務理事連絡会議への提出資料〔承認〕

現時点での提出資料内容について承認した。

なお、出席者は常務以上全役員と宇治理事の予定である。

４．「九州」「中国・四国」地区役員連絡協議会への提出協議題〔承認〕

何か提出協議題があれば、牛島専務理事まで連絡することとした。

５．口腔保健センターのレントゲン及びサーバーＰＣの購入〔承認〕

パノラマの自動現像器が故障したため、将来を見据えてデジタル化を進めることとし、リース又は購入にて導入することとした。

10．協議事項：

11．監事講評：

12．閉会：伊藤副会長

（理事　竹下 憲治）

委員会報告

医療トラブルの検証と未然に防止するために

― 各郡市医療相談担当者会議 ―

医療対策

7月21日（土）午後4時より県会館第1会議室において標記研修会が、椿副委員長の司会のもと開催された。

1．開会

2．挨拶　浦田会長

本日は猛暑の中、本当にありがとうございます。医療相談については、件数自体は減ってきておりますが、対応に苦慮するような問題が増えてきています。そのような中で、各郡市の先生方、情報を共有しながらしっかりと対応していただければと考えます。間違った情報や、誤解によりトラブルに発展しているケースもあります。本日は、そのような事例について話があると思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

3．出席者紹介

4．報告・協議

⑴　平成29年度事例分析・検討（五島委員）

過去の医療相談について具体的な事例を挙げて説明。

抜歯事例トラブル、医療トラブル後の歯科医の対応について、歯科医が放った不用意な発言から引き起こされたトラブル等の事例を挙げた。

患者の話を傾聴することが大事で、トラブル回避につながると説明した。

⑵　医療トラブル・事故報告例（町田委員）

医療トラブル報告書について説明。当該歯科医が本会へ医療トラブルなどの対応を依頼する際、記載して頂く書類である。患者との関係がこじれたら早い時期の適切な対応が重要である。当事者間で問題が解決されない場合や医事紛争に発展しそうな場合には、本会へ早期に相談してほしい。

医療事故報告書について説明。当該歯科医師が本会へ医療事故などの対応を依頼するときに記載頂く書類である。医療事故が発生した場合、その後の対応が不適切で、万が一患者との関係がこじれた場合、早い時期での適切な対応がされなければ紛争は益々エスカレートすることになる。医療事故が発生した場合には、可及的速やかに本会へ相談された方が賢明である。

今回、両報告書の内容を一部変更している。以前と比べて使用しやすいものとなっているので、トラブル発生後は速やかにご連絡いただき、ご活用いただきたい。

⑶　抜歯同意書（添田委員）

歯科医師として通常期待される義務として、最善の注意義務、説明義務、問診義務、研鑽義務といったものが求められる。その中の説明義務において、適切な事前説明を行ったか、事前説明の証拠が残っているかということが問題になっていく。これを考慮して、今回、抜歯の同意書を変更した。抜歯について医療トラブルが起こった場合でも、患者に事前に説明を行ったといえるような簡潔な内容にとどめている。一番大事なことは、患者と良好な関係を築いて、できるだけトラブルにならないように努めることである。トラブルが起こった際、当該歯科医師が医療水準から著しく逸脱している場

合は、同意書があったとしても問題となる。患者に対してどのような説明を行ったか口述内容をカルテに記載しておくこともよい。2017年のデンタルダイアモンド10月号に、同意書について非常によくまとめられている。郡市で一冊揃えておかれると、今後、有用でしょう。

⑷　前医批判（永松理事）

トラブル事例の数自体は少し減ってきているが、問題の大きい事例が最近続いている。さまざまな事例が発生している中、今回、前医批判について報告する。前医が行った診療内容は、患者の口腔内に結果として残っている。その事実について、伝えないといけない点もあるが、前医がしたものとは限らないし、説明する際に誤解や思い込み等もある。注意して説明するべきと考える。前医の意見も聞いてみないことには、前医の治療状況について安易に説明するのは避けるべきである。患者によっては前医批判を誘導してくるような事もある。前医のことは前医として、その時来た患者に対応していく必要があると考える。この後、数例の事例について具体例を挙げながら説明がなされた。

5．質疑・応答

各郡市の担当者から質疑が上がり、活発な議論がなされた。

6．総括　小島副会長

密度の濃い会議で皆さまお疲れ様でした。欧米では外科処置を行うにあたり、多くの同意書が必要です。日本でもやはり考えていかなければならないでしょう。インプラントや抜歯で、不幸にも舌神経や下歯槽神経を傷つけてしまう、そのときに記録をしっかり残しておく必要があること、また、同意書を事前に患者からいただいておくことがとても重要です。永松理事より、前医について不用意な発言をしないこと、スタッフの言動も気をつけさせないといけません。患者はタオルを掛けられていると、ドクターなのかスタッフの言動なのか判断できないことがあると思います。この判断ができない中で、不用意な発言をすることは十分に気を付けていただきたいと考えます。今回の会議での報告・議論については、各郡市に持ち帰って会員の皆様に十分に周知・徹底してもらえればと考えます。患者との関係、コミュニケーションが良好であれば、医療トラブルはある程度防げると考えます。やはり、常日頃のコミュニケーション、対応が重要です。皆さま、医療対策については大変な仕事でありますが、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

医療対策委員会でも講演会等、いろいろ実施していきたいと考えています。会員の先生方、このような話があったら聴きたいというご要望がありましたら、是非事務局までご連絡いただきますと幸いです。委員会でも、それを基に会員の皆様の役に立つような講演会等を検討していきたいと考えております。どうぞ宜しくお願いいたします。

（上村 裕希）

委員会報告

～“OHAT”でチームアプローチ推進～

― 第４回多職種連携に係る研修会 ―

センター・介護

８月４日（土）午後３時より県歯会館４階ホールにて、標記研修会が開催され歯科医師をはじめ関係する多職種の130人程が出席し聴講した。

第４回となる今回の研修会には藤田保健衛生大学の松尾浩一郎教授をお招きし「“食べる”が繋がる多職種連携オーラルマネージメント」の演題にて地域包括ケアの推進の中で歯科に求められている事、歯科医療従事者が実践できる支援についてご講演いただいた。

冒頭、松尾教授より藤田保健衛生大学病院の紹介があり、５年前に同大学医学部歯科口腔外科から“歯科”が分離され、新たに歯科教室として設立された経緯が説明された。

医学部内に歯科の設置は日本で初めての事で現在1400床を抱える同病院の入院患者の歯科治療に特化した活動が行なわれているとの事である。

歯科治療の需要は、現在の歯の形態の回復（健常者型）から口腔機能の回復（高齢者型）へニーズが移行していくと予想される。大学病院における歯科教室の設置は、多疾患、多障害の時代での歯科医療のパラダイムシフト

地域包括ケアにより多職種の人々が参加

にいち早く対応したものであり、同教室では設立時に比べスタッフ人員も徐々に増え多職種間の連携体制も充実してきたと云う。

広義の口腔ケアの実践にあたり、チームアプローチの成否のカギは「均てん化」＝口腔アセスメント手技の標準化による口腔ケアのボトムアップ、即ち誰がやっても同じレベル口腔ケアができる体制づくりと、「個別化」＝看護師では対応困難な症例の抽出と個別の対応が行えるような仕組みづくりにあると考え病態ごとに適切なアセスメント法が選択されている。その一つに要介護高齢者向けに考案され諸外国でも広く利用されている“ＯＨＡＴ”法がある。松尾教授が作成された日本語版“ＯＨＡＴ”は歯科医療以外の職種でも利用できるように考案されており、現在ＷＥＢ上でも公開されている。

この評価法の導入で評価結果をもとに必要なマンパワーを配置し適切な口腔ケア方法の選択実施が可能となる。早期から機能的な医科歯科連携が期待できる簡易かつ優れたツールであり医療介護の現場で広く導入される事が望まれる。

会場では“ＯＨＡＴ”利用に関して質疑応答がなされた後、松本理事よりの謝辞を以て閉会となった。

（規工川 浩）

委員会報告

薬剤関連顎骨壊死MRONJにどう対処すべきか？

― ポジションペーパー2016を理解する ―

学術

８月５日（日）午前10時より『薬剤関連顎骨壊死MRONJにどう対処すべきか？～ポジションペーパー2016を理解する』と題して学術講演会が行われた。講師は久留米大学医学部歯科口腔医療センターの楠川仁悟教授。薬剤関連顎骨壊死の話が聴けるとのことで、100人を超える熱心な聴講者のもと盛会に執り行われた。椿常務理事の開会の挨拶のあと、講演開始となった。

今回の講演の内容は大きく分けて３つ。始めに、ビスフォスフォネート（BPs）やデノスマブ（Dmab）といった骨吸収抑制薬（ARA）の種類や作用機序と統計学的報告。次に、薬剤関連顎骨壊死（MRONJ）の臨床報告。そして最後にMRONJの予防や治療法、医科歯科連携について講演された。

骨吸収抑制薬（ARA）の使用で問題になっているのは、骨粗鬆症と転移性骨腫瘍（がんの骨転移）である。フォサマック錠などのBPsは破骨細胞に直接作用し細胞死（アポトーシス）を誘導するのに対し、デノスマブなどの抗RANKL抗体は破骨細胞の分化増殖を抑制することで、骨折を予防している。統計学的にはARAを服用することで大腿骨頸部骨折の発生率が40%以上も下がったとの報告があり医科の観点ではARAは骨折予防には重要な役割を果たしていると言える。一方、歯科ではARAを服用の患者を治療することで、顎骨壊死のリスクが高まる。骨粗鬆症や悪性腫瘍での顎骨壊死発症率は0.01%～0.1%であると報告されているが、楠川教授の臨床実感ではそれ以上の発生頻度があるのではないかとのことであった。また４年以上BPsを経口摂取しているケースでは顎骨壊死のリスクがさらに上昇するためBPsを休薬して治療することが望まれる。MRONJの初期のレントゲン所見は『歯槽骨や歯槽硬線の肥厚と硬化』として現れるため、常日頃からデンタルやパノラマレントゲンをしっかり読影することを心がける。ARA投与の患者の抜歯は、完全閉鎖が基本で口腔粘膜を面で合わせることが重要とのことで、楠川教授はPRPなどの多血小板血漿を用いることで、創傷の治癒を促進させ術後の感染予防を図られていた。MRONJの発症予防は感染予防が何より重要なので、口腔ケアなどの口腔内管理を徹底することが大切であり、不幸にもMRONJを発症した場合は、ステージに応じて治療する必要があるので口腔外科との連携が不可欠である。また、最近ではBPsやDmabなどの骨吸収抑制薬以外にも、顎骨壊死を引き起こすリスクがある薬剤が報告されている。特に注意すべきは、関節リウマチなどで使用されるメソトレキサートMTX（リウマトレックス）である。この場合はMTXを休薬するだけで症状が寛解することが多いとのことだった。

新しい医療について理解を広げることが大切

近年ではさまざまな疾患に対して多くの新薬が開発されてきている。地域包括ケアにおける歯科医師の役割を考えると、専門領域以外であっても、新しい医療について理解を広げる努力をすることが大切である。

今回の講演を拝聴して普段の診療時に気をつけて頂きたい点は、

①お薬手帳の確認だけでなく注射薬もしっかり確認すること。

②医歯薬連携を積極的に行い、相互理解を深めること。

③患者へ正しい情報を提供し、QOLの維持・向上に努めること。

２時間半をいう短い時間であったが、身が引き締まる思いがした。

質疑応答後、井上理事の謝辞・閉会の辞をもって終了した。

（壽永　旭博）

水俣・芦北郡市

町民の健康意識の高さを実感

― あしきた健康フェアー ―

8月26日（日）芦北町湯浦のきずなの里にて「あしきた健康フェアー」が開催された。芦北町町議会、水俣市芦北郡医師会、水俣芦北薬剤師会、本会等各種団体の主催で町民の健康つくり推進事業として行われた。尚、当郡市からは野村健一郎会員と私、歯科衛生士4人が参加した。

複数のブースがあり、歯科関係は「お口の健康づくり」コーナーを担当した。内容は野村会員による唾液のPHテスト、私が位相差顕微鏡で口腔内細菌観察、歯科衛生士によるガムを使用した咬合力チェック、ブラッシング指導や義歯洗浄指導を行った。位相差顕微鏡では自分の口腔内にいる細菌に興味を持たれていた。中には子供さんの動画撮影をしているお母様もいた。

「はい、お口アーンして。」
細菌の検査しますよ。

歯科関係以外には血圧、簡易血糖検査、血管年齢検査、物忘れチェックなどの健康チェック、薬剤師会の薬相談、湿布の貼り方など、運動体験、食育コーナー、子供向け劇などがあった。また、各ブースを回ってスタンプを押していき5個以上になったら抽選会に参加出来る事も子供たちに好評だった。

スタンプラリーの紙を片手に、
PHテストの説明を受ける親子

午前中だけであったが町民の健康に対する意識の高さからか多数の参加があり、興味を引きつける催し物を企画した実行員委員会の努力が伺われた。町民のお口の健康を守る為にも我々は今後も微力ながら協力して行きたいと思う。

謝辞：今回、貴重な教材である位相差顕微鏡を借用頂きました熊本歯科衛生士専門学院にこの場をお借りして厚くお礼を申し上げます。

（井上　真樹）

会員投稿募集

会報をもっと気軽に読んでいただけるよう、会員のための投稿コーナーのページを設けることとなりました。趣味はもちろん社会に対して思うこと、娯楽的な映画・本の紹介、紀行、何でも結構です。どしどしご投稿ください。ただし、本会に対するご意見やご要望などは、対外的な広報誌であることから掲載の対象とはいたしません。ご了承ください。ご意見やご要望は、「会長への手紙」にお願いいたします。

また、投稿の内容により掲載できない場合もありますことをご理解ください。

（広報委員会）

リレー投稿 22

新樹会『歯の健康ランド』と双子の娘

熊本市　三笘 貴司

今年の４月に本会に入会した三笘歯科の三笘貴司と申します。初めての仕事がこのリレー投稿になりました。所属している若手歯科医師の会「新樹会」議長の渡邉康会員から依頼を受け、「え？僕ですか？」と驚きと不安でいっぱいになり色々と書くことに悩みましたが、毎年頑張っている新樹会で担当している「歯の健康ランド」と双子の娘について書きたいと思います。

「歯の健康ランド」は毎年10月下旬から11月上旬の日曜日に熊本市動植物園で行う年に１度の歯科啓発イベントで今年で25回目になります。対象者は子供を中心に行っており、スタンプラリーイベントとステージイベントがあります。スタンプラリーでは新樹会で行う歯科健診、歯科衛生士学生によるブラッシング指導、フッ素洗口体験コーナーの３コーナーでスタンプを押してもらい１つでもスタンプがもらえればオーラルケアグッズおよびおもちゃがもらえるイベントです。ステージでは歯科衛生士学生にブラッシング指導の演劇、サンスターによる劇（ミッフィーと歌おう）とゲーム、私の司会によるオーラルケアクイズと歯の講演を行う盛大なイベントです。新樹会に入って２年目に健康ランド担当の依頼を受け、ステージに上がり人前で話すのと子供と接するのが苦手でしたので不安な気持ちでした。しかし自分の成長するチャンスと考え、この仕事を引き受けて頑張ることにしました。歯科健診はそこまで緊張しませんが、ステージのオーラルケアクイズの司会と歯の講演が緊張します。実際やってみると子供達が興味津々に聞いており、そんな光景をみると楽しくなり、色々とお話ししたくなりました。やってみてよかったなと心の底から嬉しい気持ちでいっぱいでした。今年の「歯の健康ランド」は10月28日に熊本市動植物園で行いますので、興味がある方はぜひお越しください。新樹会に入り、「歯の健康ランド」の仕事もさせてもらい自分も人間的に成長したと思います。周りの先生方や「歯の健康ランド」を一緒に手伝ってくれる方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

「歯の健康ランド」の健診風景

「歯の健康ランド」私の司会によるステージイベント

そんな自分も今は２歳の双子の娘のパパになり、健康ランドで学んだ子供とのふれあい方を生かしながら妻と一緒に子育てをがんばっております。最近子供達は話も上手になり色々と興味を持ち日々成長しています。散歩に行くと草木、小さい虫、犬猫にも興味を持ち、歌も上手になりアンパンマンの歌やＮＨＫ「おかあさんといっしょ」で流れる歌など聞かせてくれます。間違いなく、私がカラオケで歌う歌よりも上手です（笑）。双子だから同じものに興味を持つのかと思ってましたが、２人それぞれ全然違うことに興味をもつのはびっくりです。これから色んなことを経験させて、２人の成長を見ていきたいと思っています。

がんばって大きくなるんだぞ！

次は新樹会の後輩で同じ双子のパパでもあります西山洋三会員にリレーしたいと思います。

段ボールに入り楽しそうな双子の娘

新入会員 NEW

①今もっとも関心のあることを教えてください。
②自分が希望する歯科診療とはどのようなものだとお考えですか。
③他の歯科医院にはない自分の医院の特色を教えてください。
④今後の抱負は何ですか。

第１種会員

淺野　司
（アサノ　ツカサ）

玉名市山田2203-1

あさの歯科医院

①子供の将来。
②ワークライフバランスが整い、日々が充実している歯科診療が理想です。
③地域密着の親しみやすい医院づくりを心がけています。
④これから迎える高齢化社会に向けて、在宅医療も頑張りたいです。

河野　宏明
（カワノ　ヒロアキ）

宇城市松橋町松橋574

河野歯科医院

①予防・歯周病治療。
②患者さんが納得できるまで説明し、満足していただける治療をする。
③地域に密着し、患者さん１人１人にしっかり寄り添う。
④知識や技術を研鑽し、地域医療に貢献していきたいです。

中村　徹生
（ナカムラ　テツオ）

八代市西松江城町10-3

中村歯科医院

①子供達の成長と熊本の復興。
②患者さんが安心、リラックスして受けられる診療。
③特になし。
④これからも患者さんに安心、信頼される歯科医でありたい。

第３種会員

大野　毅
（オオノ　タケシ）

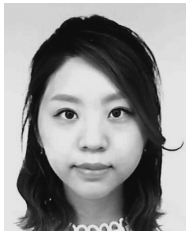
熊本市東区東本町15-1

自衛隊熊本病院

大塚　洋平
（オオツカ　ヨウヘイ）

熊本市中央区本荘6-4-4

中原歯科クリニック



中原　亜由美
（ナカハラ　アユミ）

熊本市中央区本荘6-4-4

中原歯科クリニック

会　務　報　告

自　平成30年７月23日
至　平成30年８月19日

所管	日付	摘要	出務者
総　務	７月23日	熊本サントリー会（熊本ホテルキャッスル）	浦田会長
		警察歯科医会全国大会抄録打合せ	竹下理事
	25日	第15回理事会 【承認事項】 （１）新入会員の承認（２）関係機関・団体からの役員等の推薦依頼 （３）名義後援使用及び協賛依頼　ほか 【議　　題】 （１）次期日歯会長予備選挙に対する要請 （２）平成31年度地域医療介護総合確保基金新規事業提案 （３）一般社団法人熊本県歯科医師会共催・協賛及び名義後援に関する内規の制定　ほか 【協議事項】 （１）会員から贈呈された寄付金の取り扱い	浦田会長他大林理事を除く全役員
	26日	九州地方社会保険医療協議会熊本部会（九州厚生局熊本事務所）	椿常務理事
		第17回警察歯科医会全国大会実行委員会	浦田会長、小島委員長他13委員
	27日	県体育協会第１回財務特別委員会（ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ）	澤田事務局長
		月次監査 （１）Ｈ30．６月末会計現況監査	中嶋・西野監事
	28日	森原久樹先生の旭日小綬章受賞を祝う会（城山ホテル鹿児島）	浦田会長
		県下歯科大学（歯学部）同窓会支部連絡協議会懇親会（ホテル日航熊本）	渡辺副会長、牛島専務理事
	30日	職員辞令交付式	牛島専務理事
	８月１日	第１回県医療審議会（県庁）	浦田会長
		第26回常務理事会 （１）新入会員の承認（２）口腔保健センターの自動現像機故障による購入 （３）災害被災地４県への災害見舞金支給に係る代議員会報告及び支出会計　ほか	浦田会長他常務理事以上全役員
	２日	県健康福祉部との懇談会（熊本市） （１）県健康福祉部21名との懇談会	浦田会長他役員12名、澤田事務局長
	３日	三師会懇談会（熊本市）	浦田会長、小島・渡辺・伊藤副会長、牛島専務理事、田上常務理事、澤田事務局長
	４日	九州各県会長会（レンブランド大分）	浦田会長
		九地連協議会（レンブランド大分）	浦田会長、小島副会長、牛島専務理事、八木常務理事、澤田事務局長
		くま歯キャラバン隊（天草郡市）（天草プラザホテル） （１）医療苦情の実情と実例（２）苦情発生から解決までの流れ　受講者：18名	永松理事
		九地連総会（レンブランド大分）	浦田会長、小島副会長、牛島専務理事、八木常務理事、澤田事務局長
		愛知学院大学歯学部同窓会熊本支部平成30年度総会懇親会（熊本市）	渡辺副会長、田上常務理事
	５日	故元島博信会員（熊本市）告別式弔辞奉呈（熊本市）	渡辺副会長
	６日	アジア競技大会女子ハンドボール日本代表壮行会（KKRホテル熊本）	阿蘇郡市・片山会員
		警察歯科医会全国大会予演会	小島・渡辺・伊藤副会長、牛島専務理事、椿常務理事、竹下・井上・宇治理事
	７日	サンスター九州支店長との打合せ	浦田会長、渡辺副会長、牛島専務理事
	８日	第802回支払基金幹事会（支払基金）	浦田会長
	９日	ホテル日航との打合せ（ホテル日航熊本）	渡辺副会長、牛島専務理事、宮井・宇治理事
	14日	県緊急医療連絡協議会（県医師会館）	牛島専務理事
		警察歯科医会全国大会打ち合わせ	渡辺副会長、牛島専務理事
	16日	第27回常務理事会 （１）新入会員の承認（２）第73回九州歯科医学大会（熊本開催）の開催期日及び会場 （３）平成30年度第１回各郡市歯科医師会会長・専務理事連絡会議への提出資料　ほか	浦田会長他常務理事以上全役員
	17日	県医療・保健・福祉団体協議会平成30年度第１回理事会（県医師会館）	浦田会長
	18日	西日本豪雨災害、大阪地震災害見舞金贈呈（西日本豪雨災害、大阪地震災害被災地）	浦田会長、小島副会長
	19日	西日本豪雨災害、大阪地震災害見舞金贈呈（西日本豪雨災害、大阪地震災害被災地）	浦田会長、小島副会長
学　術	８月５日	学術講演会 受講者：109名 演題：「薬剤関連顎骨壊死 MRONJ にどう対処すべきか？－ポジションペーパー2016を理解する－」 講師：久留米大学医学部歯科口腔医療センター　楠川　仁悟　教授	椿常務理事、井上理事他５委員
社会保険	７月28日	第２回社会保険、学術、医療対策、センター・介護合同研修会（施設基準届出に係る研修会） 受講者：207名	椿常務理事、永松・松本・田中理事、桐野・馬場委員長、長野委員
		社会保険個別相談会 相談者：１名	椿常務理事他４委員
		社会保険委員会 （１）会員向け発行物（２）指導立会者、個別指導対応（３）シニア倶楽部社保研修会　ほか	椿常務理事、田中理事、桐野委員長他10委員
	８月４日	社会保険個別相談会 相談者：１名	桐野委員長他２委員

所管	日付	摘要	出務者
社会保険	8月6日	レセプトチェックセンター 相談者：0名	田中理事
	18日	社会保険個別相談会（八代市） 相談者：1名	清藤委員
地域保健	8月6日	第1回県健康づくり県民会議幹事会（県庁）	渡辺副会長
	9日	後期高齢者歯科口腔健康診査事業研修会（水俣市高齢者福祉センター） 受講者：50名	伊藤委員
		熊本さわやか大学校熊本校講演（県総合福祉センター）	椿賢会員（熊本市）
	18日	後期高齢者歯科口腔健康診査事業研修会 受講者：76名 講師：福岡歯科大学高齢者歯科学分野　加藤智崇　助教ほか （1）講演1「高齢者におけるフレイル」（2）講演2「保険点数の算定」 （3）講演3「健診後の保険診療への移行と継続管理の実際」	渡辺副会長、田上常務理事、赤尾・田中理事、髙水間副委員長他1委員
広　　報	8月10日	広報小委員会 （1）会報9月号編集・第1校校正	竹下理事他3委員
学校歯科	7月23日	支援学校におけるフッ化物洗口協議会	渡辺副会長、牛島専務理事、大林・松本理事
	25日	第4回日学歯理事会（日歯会館）	大林理事
	29日	学校歯科研修会基礎研修・更新研修 受講者：基礎研修22名、更新研修48名	浦田会長、渡辺副会長、大林理事、河原委員長他全委員
	31日	独立行政法人日本スポーツ振興センター学校安全業務運営会議（くまもと県民交流館パレア）	渡辺副会長
		特別支援学校におけるフッ化物洗口説明会（松橋支援学校）	大林理事
	8月4日	県体育協会メディカルチェック（熊本市医師会ヘルスケアセンター）	渡辺副会長
	8日	県体育協会判定会（アークホテル熊本）	渡辺副会長
	16日	県PTA共済審査委員会（県総合福祉センター）	西野監事
	17日	第57回県学校保健研究協議大会（荒尾総合文化センター）	浦田会長、大林理事、田畑会員
医療対策	7月23日	県医療対策推進協議会（県庁）	澤田事務局長
	8月7日	医療対策小委員会 （1）九州各県歯科医療安全対策担当者会の提出協議題回答	永松理事、岡田委員長他1委員
	8日	医療相談	永松理事、岡田委員長他1委員
	17日	医療対策委員会 （1）事例報告検討（2）平成30年度九州各県医療安全対策担当者会 （3）医療対策講演会　ほか	永松理事、岡田委員長他全委員
センター・介護	7月24日	第15回県在宅医療連携体制検討協議会（県医師会館）	松本理事
	25日	口腔保健センター職員採用面接 応募者：1名	小島副会長、八木常務理事、松本理事
	8月4日	第4回多職種連携に係る研修会 藤田保健衛生大学医学部歯科・口腔外科　松尾浩一郎主任教授　参加者：114名	田上常務理事、松本理事、平井委員長他8委員
	8日	県医療政策課との打合せ （1）口腔保健センターの運営	小島副会長、松本理事
	18日	センター・介護委員会 （1）平成30年度委託事業確認	松本理事他全委員
厚生・医療管理	7月24日	厚生・医療管理委員会 （1）合同就職説明会（2）警察歯科医会全国大会（3）シニア倶楽部　ほか	宮井理事、池嶋委員長他全委員
	28日	荒尾市健康診断（荒尾市医師会館）	
	8月7日	厚生・医療管理小委員会 （1）合同就職説明会（2）シニア倶楽部（3）九州各県厚生担当者会議　ほか	宮井理事、池嶋委員長他1委員
	9日	山鹿市健康診断（鹿本郡市医師会館）	
	18日	水俣・芦北郡市健康診断（津奈木町つなぎ文化センター）	
		天草郡市健康診断（天草地域健診センター）	
学　　院	8月5日	第2回学院体験入学 参加者：44名	
	18日	合同就職説明会打合せ	宮井理事、池嶋委員長他3委員
	19日	第3回学院体験入学 参加者：31名	
		合同就職説明会 参加事業所：事業所 参加者：71名（聴講者：77名）	林副学院長、宮井理事、池嶋委員長他3委員
国保組合	7月27日	国保連合会総会（KKRホテル熊本）	田尻課長補佐
	28日	国保臨時組合会	23組合会議員、浦田理事長他全役員

其の1

会員専用グループ保険制度のご案内

今年度から保険料がさらにお安く

最高「3000万円」の保障が無診査で加入OK

配偶者も1000万円まで加入OK

1年更新で配当金は毎年加入者へ還元

※昨年度実績40%還付

グループ保険は歯科医師会が契約者で
保険料を一括納付しています。
会員だけがいつでも自由に加入できる制度です。

其の2

既に下記の保険会社でご加入の会員様も保険料納付は団体収納扱いでお願いします！

下記の保険会社と団体収納契約をしておりますので
会費明細引きがご利用できます。

個人でご加入した保険料が団体割引でお安くなり、
保険内容に何も影響ありません。

手続きは簡単、事務局が代行します。ぜひ便利でお得な制度をご活用ください。

朝日生命　アメリカンファミリー生命　住友生命　損保ジャパンひまわり生命
第一生命　日本生命　富国生命　明治安田生命　メットライフ生命

[県歯事務局　TEL：096-343-8020　担当：奥村]　までご連絡ください

熊本県歯科医師会会員の皆さまへ

クレジットカード・電子マネー決済端末のご案内！

国内会員数 約2,700万人！
イオンクレジットサービスからのご案内です！

端末無料貸与！月額使用料なし！

優遇手数料のご案内

VISA・Master・銀聯：2.8%

イオンカード：2.7%

各種電子マネー：2.6%

電子マネーも使えます！

リボ払い・分割払いにも対応！
インプラント・矯正治療等の高額決済時に
毎回ローンを組む必要なし！
電子マネーで歯ブラシ等の販売も
スピーディ！

お気軽にご相談・お問い合わせください！

イオンクレジットサービス株式会社 熊本支店
熊本市中央区水道町９－３１ 損保ジャパン日本興亜熊本水道町ビル３階

096-211-3020

受付時間：10:00～18:00（土日祝を除く）

※WAON・楽天Edy決済には別途消費税が掛かります。※交通系電子マネーはLAN環境のみ使用可能です。
※優遇とは、福岡市歯科医師会会員様へ特別にご提案させていただくという意味になります。

イオンクレジットサービス

Kumamoto Prefecture Dentistry Medical Association Report
October 2018 No.748

笑顔ヘルC

11 主な行事予定 November

4日(日)	笑顔ヘルCキャンペーン中央イベント（熊本市・びぷれす広場）
7日(水)	第32回常務理事会
10日(土)	回復期講演会（熊本市医師会館）
18日(日)	学院「熊歯衛祭」
21日(水)	第33回常務理事会
28日(水)	第19回理事会

熊本県ご当地よ坊さん

熊本県歯科医師会
安心・安全歯科医療推進制度

編集者のつぶやき

6月大阪北部地震、7月西日本豪雨災害、9月台風21号と北海道地震、ここ3ヶ月間で地震、台風、豪雨などにより全国各地で災害が起こっている。北海道地震の映像は2年前の熊本地震を思い出し、恐怖を感じる方も多かったのではないだろうか。災害によりお亡くなられた方へ哀悼の意を表すとともに、被害にあわれた方へ心よりお見舞い申し上げます。又1日も早く復旧、復興なされることをお祈りいたします。

8月に熊本で行われた警察歯科医会全国大会は熊本地震での活動を振り返るのが主だったが、出羽岩手医科大学法医学講座教授の講演で印象に残った言葉があった。「訓練は実際に起こった想定でやらないと意味がない。」又「実際に起こった想定でやらない訓練ならば、やらないほうが良い。」

東日本大震災が起こる数日前、ある地区の防災センターにて津波を想定した訓練が行われ、避難する場合は高台に逃げてくださいと説明されたそうだ。そして実際津波が発生した日、訓練場所の平地にある防災センターに駆けつけて亡くなる方が、大勢いたとの話だった。本当に残念で、結果的に訓練しない方がよかったとは、やりきれない気持ちになった。

これを教訓にして、今後我々は様々な訓練を行う際は、実際に起こった想定でやらねばと強く思う。

(N. Y)

■発行日／2018年10月5日発行　■発行人／浦田　健二
■発行所／一般社団法人 熊本県歯科医師会
〒860-0863 熊本市中央区坪井2丁目4番15号
TEL／096-343-8020　FAX／096-343-0623
URL／http://www.kuma8020.com
■印刷所／コロニー印刷